

地域の拠点施設としての地域公民館の役割は、

■社会教育、生涯学習の拠点施設

地域住民が集い、学び、交流する「地域の絆」をつなぐ公共施設として、住民の生きがい、生涯画期の学習を提供・サポート。

■地域住民活動の支援施設

「住民の自治能力を育むための学習の場」として、自分の暮らしや地域を豊かにしていく主体を育む活動を推進。

地域の課題、求められていること

■地区公民館や自治会、学校等地域住民との協働による、

- ・地域課題解決や元気づくりの取組みの充実
- ・地域の担い手づくり、地域人材の発掘と育成

■多様化する地域課題(地域防災・防犯、環境・衛生、福祉、医療、家庭の支援、学校の支援、雇用...)への柔軟な対応

■市民の生涯学習環境のより一層の充実

建物・設備

■施設の老朽化への対応

これらの課題への取組みとして、

「市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち」市民がいつでも・だれでも・どこでも生涯にわたって学ぶことができる環境を作り、生涯を通じて豊かな暮らしを実現できる、福知山を目指します。

公民館が「集い」「学び」「結ぶ」場として、地域づくりや地域課題解決につながる講座を開催する。また、地域住民主体の活用につなげ、公民館に集う人をより一層増やし、共に学び交流する中で、地域人材の発掘、育成につなげていく。

Step1 利用機会の拡大、開館時間を午前8時30分に統一

- ・地域住民に身近な、集い・学び・交流、情報の拠点施設として、
- 利便性の向上、施設の有効活用と市民サービス・市民満足度の向上

Step2 生涯学習講座の充実

- ・市民の生きがいづくり、地域コミュニティ醸成、地域人材の発掘・育成につながる講座を充実
- ・幅広い世代の学習や生きがいづくりをサポート、より多くの住民参加を促進
- ・地域の担い手の発掘と育成、地域課題解決や元気づくりに向けた学びを充実

Step3 機能統合への取組み開始、地域課題・住民ニーズに柔軟に対応

- ・生涯学習機能に加えて、地域福祉、住民自治、地域防災等、地域活動の拠点として機能統合
- ・地域包括支援センターなど各分野の行政部局の連携
- ・地区公民館や学校また自治会等地域住民や関係団体との連携・協働の取組み強化

地域公民館・体育館長寿命化大規模改修事業の取組みについて

建物全体の改修整備

- 建物劣化度調査に基づき、建物全ての不具合部分の改修及び屋根（屋上）・樋・建具・室の区画・内外装等の改修
- 内外装（仕上）の改修について、全面リニューアルの観点から改修
- 全ての設備（電気設備・空調設備・給排水設備等）の更新

地球温暖化対策

年間総電力量及び温室効果ガス排出量の削減

- 屋内外全ての照明のLED化
- 太陽光発電及び蓄電システムの連携による、地産電力の確保
- V2B機器による外部からの電力供給システムを構築
- 高効率の電気設備の整備による節電

施設機能及び避難所機能の充実

- 停電対策：太陽光発電及び蓄電システムの連携によるレジリエンスの強化
V2B機器による外部からの電力供給システムを構築
- 要配慮者対策：エレベーターを設置、全てバリアフリーに配慮し整備
床段差の解消、通路等手すりの設置、車椅子・ベビーカーに対応したゆとりのある通路の確保、オスメイト対応の多目的トイレ、授乳室・おむつ換えスペースの整備等
- 断水対策：雨水貯水タンク、マンホールトイレの整備
- 情報収集・情報発信力の強化：Wi-Fi環境の整備